



羽鳥小だより 臨時号

2025 (令和7) 年度 藤沢市立羽鳥小学校 校長 山崎 晋治

2025年度 学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3・5年生の児童と保護者、学校評議員の皆様による、学校づくりアンケートを実施いたしました。Google フォームを活用してのアンケートでしたが、お忙しい中ご協力をいただきましてありがとうございました。

【児童アンケートの結果より】

3年生

(A そう思う B だいたいそう思う C あまり思わない D 思わない)

2025年度 3年生アンケート結果		A	B	C	D
①	あなたは、学校のきまりや約束を知っている。	55%	38%	6%	1%
②	あなたは、学校のきまりや約束を守っている。	47%	46%	7%	0%
③	学校の行事に楽しく参加している。	70%	24%	4%	2%
④	学校での勉強は楽しい。	55%	35%	9%	1%
⑤	学校の先生たちは、あなたがこまったときに話を聞いてくれたり、いっしょに考えたりしてくれている。	60%	33%	6%	1%
⑥	あなたは、学校からのおたよりをお家の人にわたしている。	70%	25%	3%	2%
⑦	あなたは、火事、じしんや台風などの時、学校でのひなのしかたを知っている。	66%	27%	6%	1%
⑧	学校のしせつ(校舎、教室、つくえ、いす、遊具など)は安心してつかえる。	73%	22%	4%	1%
⑨	友だちとなかよくしたり、人にやさしくしたりしている。	66%	30%	4%	0%
⑩	当番や係などでクラスの仕事にとり組んでいる。	74%	25%	1%	0%

- ①と②の「学校のきまり」については、「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合が90%以上であり、多くの子どもたちが、きまりや約束を知り、守ろうとしていると考えます。
- ③の「学校行事に楽しく参加している。」では、94%の児童が肯定的に回答し、運動会や集会活動、羽鳥先どり祭など、異学年交流の機会が子どもたちの楽しみにつながっていると考えます。
- ④の「学校での勉強は楽しい。」では、肯定的な回答が90%と満足度が高い反面、10%の児童が否定的な「あまり思わない」「思わない」と回答しているので、今後も児童にとって楽しく学びのある授業が行えるよう、教材研究を行うとともに、ICT機器の活用なども工夫して取り入れていきたいと思います。
- ⑤の「学校の先生たちは、あなたが困っているときに話を聞いてくれたり、いっしょに考えたりしてくれている。」では、「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合は93%で、多くの児童が先生に相談できているようであり、児童にとっての安心感にもつながっていると考えられます。また、担任以外にも困った時に相談できる場所が多くあることも知ることで、さらに児童にとっての安心感にもつながると考えます。今後も、相談できる場所を改めて周知していきたいと思います。
- ⑥の「学校からのおたよりをお家の人にわたしている。」では、95%の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しているので、学校からのお便りは概ね保護者の皆様に届いていると考えます。
- ⑦の「学校での避難のしかたを知っている。」では、「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合は93%と多くの児童が理解できているようです。全校実施で、繰り返し避難訓練をし、内容も休み時間に行うなど工夫してきた結果と考えます。
- ⑧の「学校の施設(校舎、教室、机、いす、遊具など)は安心して使える。」は、「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合が95%で肯定的な意見が高い結果となっています。今後も、日々の安全点検をしっかりと進めていきたいと思います。
- ⑨の「友だちと仲良くしたり、人にやさしくしたりしている。」では、「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合が96%で、非常に高い数値を示しています。今後も、大切にしていきたいところです。
- ⑩の「当番や係などでクラスの仕事にとり組んでいる。」では、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が約99%であり、ほとんどの児童が当番や係の仕事に積極的に取り組むことができていると考えられます。

5年生

(A そう思う B だいたいそう思う C あまり思わない D 思わない)

	2025年度 5年生アンケート結果	A	B	C	D
①	あなたは、学校のきまりや約束を知っている。	41%	53%	4%	2%
②	あなたは、学校のきまりや約束を守っている。	24%	63%	11%	2%
③	学校の行事に楽しく参加している。	54%	37%	7%	2%
④	学校での勉強は楽しい。	33%	49%	13%	5%
⑤	学校の先生たちは、あなたがこまったときに話を聞いてくれたり、いっしょに考えたりしてくれている。	53%	35%	10%	2%
⑥	あなたは、学校からのおたよりをお家の人にわたしている。	56%	30%	11%	3%
⑦	あなたは、火事、じしんや台風などの時、学校でのひなんのしかたを知っている。	59%	36%	4%	1%
⑧	学校のしせつ(校舎、教室、つくえ、いす、遊具など)は安心してつかえる。	68%	26%	4%	2%
⑨	友だちとなかよくしたり、人にやさしくしたりしている。	44%	52%	2%	2%
⑩	当番や係などでクラスの仕事に取り組んでいる。	58%	34%	7%	1%
⑪	委員会などで学校の仕事に取り組んでいる。	62%	32%	5%	1%

- ①と②の「学校のきまりや約束」については、肯定的な回答の合計は90%前後と低くはありませんが、「そう思う」よりも「だいたいそう思う」の割合が高くなってきています。3年生と比べると、自分のことをより客観的に見ることができるようになってきているのではないかと考えます。
- ③の「学校行事に楽しく参加している。」は、昨年は96%だったのが、今年度は91%に下がっています。昨年と比べ新しい行事がなかったことが考えられますが、全体的には肯定的な回答をしているので、今後も、行事を通して成長できるように、工夫していきたいと考えます。
- ④の「学校での勉強は楽しい。」では、「あまり思わない」と回答した児童が13%、「思わない」が5%います。実態に応じて、一人一人が楽しく取り組めるように、今後も教材研究に取り組んでいきたいと考えます。
- ⑤の「学校の先生たちは、あなたが困ったときに話を聞いてくれたり、一緒に考えたりしてくれている。」では、88%の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答していますが、「あまり思わない」「思わない」の回答も、10%以上と一定数見られます。引き続き児童にとって困ったときに頼れる存在であるよう、声かけの仕方の工夫や安心できる雰囲気作りに努めてまいりたいと考えます。
- ⑥の「あなたは、学校からのおたよりをお家の人に渡している。」では、86%の児童ができていますが、一方で14%の児童ができていない現状が見られます。児童への声かけに併せて、すぐるなどの活用方法も検討していきたいと考えます。
- ⑦の「あなたは、火事、地震や台風などの時、学校での避難のしかたを知っている。」では、「そう思う」「だいたいそう思う」が95%で、昨年度(93%)より増えており、計画的に避難訓練を実施している成果であると考えます。今後も繰り返し、内容を精査しながら実施していきたいと考えます。
- ⑧の「学校の施設(校舎、教室、机、いす、遊具など)は安心して使える。」では、94%の児童が肯定的に回答しています。今後は、更に子どもたちの目線での安全点検についても、考えていきたいと思います。
- ⑨の「友だちと仲よくしたり、人にやさしくしたりしている。」では、96%の児童が肯定的に回答しており、ほとんどの児童が友達と仲良く過ごし、優しくしようとしていることが感じられます。しかし、「あまり思わない」「思わない」と回答している子どももいます。また、友だちの言動で傷ついてしまう場面もあるので、今後も、日々の声かけや道徳の授業などを通して、肯定的な気持ちを養っていきたいと考えます。
- ⑩⑪では、多くの子どもたちが自分の仕事に取り組んでいることがわかります。また、⑩「当番や係などでクラスの仕事に取り組んでいる」についての肯定的な回答は92%。⑪の「委員会など学校の仕事に取り組んでいる」についての肯定的な回答は94%となっていて、学校全体の仕事の方が高い割合になっています。3年生には⑪の質問はないのではっきりとは言えませんが、やはり高学年になって学校全体に目を向けて取り組んでいこうとする気持ちが高まってきているのではないかと推測します。

3年生と5年生の結果ともに、肯定的な回答が多くをしめていますが、「あまり思わない」「思わない」と回答している子どもたちも一定数いるので、子どもたちとの日々のコミュニケーションを大切にし、原因や悩みを共有していく中で、しっかりと目を向けていきたいと思います。

⑥の「学校での勉強は楽しい」の項目では、「あまり思わない」「思わない」の回答の割合が5年生の方が高く、学習内容が難しくなったことが理由の一つと考えられます。低学年のうちから、基礎基本の学習を大切にし、学年に応じた学力を積み重ねていくことが大切です。今後も、学校として良い方向に向かうように努力していかねばならないと思いますし、家庭や地域の協力もいただきながら、教育活動を進めて参りたいと思います。

【保護者アンケートの結果より】

(A そう思う B だいたいそう思う C あまり思わない D 思わない E わからない)

	2025年度 保護者アンケート結果	A	B	C	D	E
①	学校は、本校の教育目標や方針を伝えている。	27%	44%	9%	4%	16%
②	あなたは、本校の教育目標や方針を知っている。	8%	45%	21%	8%	18%
③	学校は、児童の実態や保護者・地域の願いに応えた学校づくりを行っている。	19%	51%	8%	6%	16%
④	あなたは、学校づくりのために保護者・地域の願いを伝えている。	4%	15%	36%	36%	9%
⑤	お子さんは、学校行事に楽しく参加している。	71%	23%	4%	1%	1%
⑥	お子さんは、授業が楽しいと言っている。	35%	48%	12%	4%	1%
⑦	あなたは、PTA行事(活動)に参加するようにしている。	7%	28%	27%	33%	5%
⑧	学校は、お子さんのことについて、保護者の相談に応じている。	41%	42%	4%	2%	11%
⑨	学校は、子どもの困り感を聞き取ったり、学校生活アンケートや相談フォーム等で悩みを把握したりして、いじめ防止や子どもたちがよりよい学校生活を送れるよう努めている。	27%	41%	9%	1%	22%
⑩	学校は、保護者や地域に学校の情報を発信している。	30%	54%	8%	3%	5%
⑪	学校が、保護者に出す連絡や文書は分かりやすい。	43%	49%	4%	3%	1%
⑫	あなたは、学校からの配布物には、ていねいに目を通している。	31%	56%	11%	1%	1%
⑬	学校は、防犯対策について、保護者に知らせている。	29%	46%	13%	4%	8%
⑭	学校は、地震や台風など災害発生時の対応について保護者に知らせている。	50%	41%	4%	1%	4%
⑮	学校の施設・設備の管理は安全に行われている。	25%	38%	9%	4%	24%

- ①②③について、学校の教育目標や教育方針は、概ね保護者に伝わっていると考えられますが、「わからない」と回答している方も15%以上います。学校だよりや懇談会、学校行事などの機会を捉えて、適切に発信していきたいと思えます。
- ④の「保護者や地域の願いを伝えている。」では、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」の割合が高かったため、懇談会など保護者の方が話せる場づくりについても工夫していきたいと思えます。また、管理職や児童支援担当教諭など、担任以外の教職員もいるので、何かあれば話していただければと思えます。
- ⑤⑥の「子どもたちは、学校行事や授業に楽しく取り組んでいる」では、肯定的な回答が⑤は94%。⑥は83%と全体的には楽しく過ごすことができていると感じます。行事に比べると授業はあまりあてはまらないの割合が増えているため、より多くの子どもが楽しく感じられるように楽しい授業作りに努めていきたいと思えます。
- ⑦「PTA行事に参加するようにしている」では、「そう思う」「だいたいそう思う」よりも「あまり思わない」「思わない」の回答の方が高い割合でした。今年度のスタートの段階では、役員さんのなり手が少なかったこともあり、PTA活動の開始が遅れたことも要因の一つかもしれません。しかし、役員さんの努力があり、年度途中から参加していただける方も増えてきました。運動会においても、多くの方のご協力をいただくことができました。今後も、PTA役員の皆様と連携しながら、参加しやすいかたちを検討していきたいと思えます。
- ⑧の「学校は保護者の相談に応じている。」では、83%が肯定的な回答をしています。また、⑨の「学校が、子どもたちの困り感を聞きとったり、学校生活アンケートや相談フォームで悩みを把握したりして、いじめ防止や子どもたちがよりよい学校生活を送れるように努めている」では、半数以上の保護者の方に理解していただいていることが感じられますが、一方で「わからない」と回答している方が2割以上います。相談方法や取組内容について、丁寧に周知していくよう努めていきたいと思えます。
- ⑩の「学校の情報を発信している」については、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した方が84%と、昨年より10%近く増加しました。今年度から本格的に始まった「すぐーる」の効果が感じられます。
- ⑪⑫の「学校からの配布物」については、92%の方が分かりやすいと回答し、87%の方が丁寧に目を通していると回答しています。子どもたちが安心して学校生活を送るためには、保護者の方のご理解とご協力が不可欠です。今後も、分かりやすい発信に努めて参りますので、保護者の方のご協力をお願いいたします。
- ⑬⑭⑮の防犯対策や災害対策、施設の安全などの項目では、どの項目も、昨年より肯定的な回答の割合が増加しています。(昨年度⑬61%⑭86%⑮57%、今年度⑬75%⑭91%⑮63%) 子どもたちの⑦「ひなんの仕方を知っている」の項目でも、高い数値が見られました。今年度、計画的に繰り返し取り組んできた成果と考えられます。子どもたちの安全については最優先事項なので、今後もしっかりと進めていきたいと思えます。

【学校評議員アンケートの結果より】

(A そう思う B だいたいそう思う C あまり思わない D 思わない E わからない)

	2025年度 学校関係者アンケート結果	A	B	C	D	E
1	学校は、本校の教育目標や方針を伝えている。	5人	0人	0人	0人	0人
2	学校は、地域の特色や教育力を教育活動に生かしている。	3人	2人	0人	0人	0人
3	子どもは、楽しそうに学校へ行っている。	4人	1人	0人	0人	0人
4	学校は、子どもや保護者からの相談に応じている。(いじめ等の悩みについても連携して取り組んでいる。)	2人	1人	0人	0人	2人
5	学校は、学校だよりや学校HPを通して、地域に学校の情報を発信している。	3人	1人	0人	0人	1人
6	学校からの連絡や文書は適切である。	3人	1人	0人	0人	1人
7	学校は、子どもの安全や防犯についての対策に取り組んでいる。	3人	2人	0人	0人	0人
8	学校の施設・設備の管理は安全に行われている。	3人	2人	0人	0人	0人
9	学校は、子どもの困り感を聞き取ったり、学校生活アンケートや相談フォーム等で悩みを把握したりして、いじめ防止や子どもたちがよりよい学校生活を送れるように努めている。	3人	1人	0人	0人	1人

【自由記述】

1. 教育活動及び学校運営等の取組状況や目標の達成状況についてご意見がございましたらお書きください。

- ・具体的な取組を、児童・教師・保護者が認識し合いながら達成感を喜び、小さな自信を膨らませてください。
- ・自転車の乗り方が、羽鳥小だより1月号に載っていて良かったと思う。
- ・言葉の受け取り方で結果や状況が変わるので、目標を常に留めていただければと思います。
- ・毎年のアンケートの結果からフィードバックし、災害対応等改善できていることは評価できると思いました。

2. 次年度に向けた教育活動及び学校運営の改善に関するご意見がございましたらお書きください。

- ・子どもも保護者も新しいことを求めています。昨年と同じとすることで安心できる家庭もありますので、特に改善に関する意見はありません。
- ・現在でも問題ないと思いますが、次年度からコミュニティスクールに移行することになっていますが、これまで以上に地域と交流が深まればと思います。
- ・子どもたちが下校後自転車で遊びに行く時に、危険な場面を見ることがあります。交通安全（特に自転車）についてお伝えいただきたいです。

3. 本校の教育活動について、ご提案を含め感想等お書きください。

- ・学校に楽しく通えることが大切だと思う。
- ・いつも児童のためにありがとうございます。児童が明るく過ごせていますが、放課後になるとはっちゃけてしまうので、引き続き声かけをしていきたいと思っています。
- ・来年度かわせみの会としても、イベントを復活し、子どもたちに体験を通して学びの場を提供できればと考えています。
- ・日々、多方面に子どもたちのことを考えて指導してくださっていることに感謝しています。

学校評議員の皆様にも、学校づくりアンケートにご回答いただきました。全ての項目で肯定的なご回答をいただいておりますが、「わからない」という方もいらっしゃいました。年3回の学校評議員会でお伝えしきれなかったことも多くあったと思いますので、こちらの発信方法について更に工夫をしていかなければならないと感じております。来年度からはコミュニティスクール(学校運営協議会を設置した学校)が始まるので、そちらでも学校の運営方針や取組について丁寧に発信していきたいと思っています。学校評議員会は今年度が最後となります。これまで、様々な視点でご支援ご助言をいただいたことに感謝申し上げます。

今年度の学校づくりアンケートを振り返りながら、来年度の学校運営の基本方針、日々の授業や行事などの取組に活かしていきたいと思っています。以前、「多くの人が協力できる学校になるよう、学校に関わる全ての人が、他人事にならず、自分事として参加できるといいですね。」という言葉が聞きました。これは、大人に向けた言葉ではありましたが、子どもたちにも、勉強や運動、係活動など、日々の様々な取組を、自分事として捉え、行動して行ってほしいと思います。そして、新しい学年で充実した学校生活を送ってほしいと思います。